

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 布施 賢司

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和5年11月24日(金)～26日(日)

2. 視察内容

第4回 全国未成線・廃線サミット in 高千穂

「鉄道遺産からの挑戦」

鉄道路線として計画されたが未完成のまま中止された未成線跡、利用者の減少や自然災害等で余儀なく営業廃止となった廃線跡、さまざまな可能性に挑戦している各地の事例発表やディスカッション等を通して、全国の未成線・廃線地域の人達と情報を共有し、鉄道遺産有効利用の方策や保存等について共に考える。

3. 視察先

宮崎県西臼杵郡高千穂町	ホテル高千穂(サミット会場)	25日	13時～16時30分
〃	〃	高千穂神社(夜神楽会場)	25日 21時～22時
〃	〃	高千穂町内(エクスカーション)	26日 9時～12時

4. 調査経費 37,239円

経費内訳: 浜田市⇒延岡市前泊⇒高千穂町⇒浜田市

交通費 (レンタカー、高速、ガソリン)	16,404円
宿泊費 (駐車料含む)	16,835円
参加費 (エクスカーション、夜神楽)	4,000円

5. 調査研究活動の概要

(別紙のとおり)



【高千穂町の概要】

宮崎県の北西部、九州山地の中に位置しており、町域の北西部から北部にかけては熊本県に接し、北部から北東部にかけては祖母山(標高 1,756m)を挟んで大分県と接する。町域西部から南東部に向かって五ヶ瀬川(ごかせがわ、全長 106km)が流れる。町の中央部にある宮崎交通高千穂営業所の周辺地域が町の中心部となっている。町中心部からやや南側の高千穂峡(たかちほきょう、正式には五ヶ瀬川渓谷)に代表される豊かな自然環境や神話にゆかりの神社といった観光資源を有する宮崎県内随一の観光地として有名である。

○人口 10,789 人(2023.11.1) ○面積 237.54 ㎡ ○町の木:おがたまの木 ○花:ふじ ○鳥:ホオジロ

【第 4 回 全国未成線・廃線サミット in 高千穂について】

会 場 : 国民宿舎 ホテル高千穂 参加人数 : 200 名弱

主催者 : 実行委員会会長 高千穂町長 甲斐 宗之

プログラム 1:開会式 2:活動事例発表 3:トークイベント 4:大会引継式 5:閉会

1 高千穂線未成線、廃線になった背景とサミット名称について

昭和の国鉄時代に宮崎県延岡市から、高千穂町を経て熊本県高森町まで繋がる九州中部横断鉄道となる予定であったが、国鉄再建法により高千穂・高森間の工事は 70%を残して中断となり高千穂から高森までの間は未成線となった。また高千穂から延岡間は平成 17 年の台風災害により橋梁や駅舎、線路の一部が流失し平成 20 年末に廃線が確定した。全長 50 キロの旧 TR 高千穂鉄道施設があることから新たに「未成線」に「廃線」を加え、「未成線・廃線サミット」とした。(これまでは全国未成線サミット)



サミット開会の挨拶 甲斐高千穂町長



オープニングで壮観劇場として上映(地元ケーブル TV 制作)

2 活用・活動事例

●高千穂線跡 (未成線地)

延岡と熊本を結ぶ予定であった「九州中部横断鉄道」の名残の、総延長 1,115m のトンネルを利用した神楽酒造の焼酎貯蔵庫がある。無料見学で国道 325 号線沿いの高千穂物産館「トンネルの駅」



トンネルの駅正面 トンネル焼酎貯蔵庫



温度 17℃・湿度 70%共に安定しており貯蔵に最適



樽(440ℓ)4 段 1,300 樽 一升瓶換算 18,000 本

(廃線跡地)

もう一度走らせたいという思いで、当初は駅構内にて手押しのカートで運行していたが、少しずつ改良を加え、現在は高千穂町内の鉄道施設跡、片道 2.6Kmの軌道上にグランド・スーパーカートという乗り物を運行している。(雨の日はカッパを着て運行、高架橋を走行するため風力基準があり運行中止もある)



グランド・スーパーカート (オープン)



たくさんの観光客が見送りにくれます。(体験乗車賃 1,800 円)



高千穂鉄橋で停車 眼下を見渡せます

その他取組

* 高千穂線の歴史を伝える全線再現ジオラマ制作を依頼し、2023 年 12 月末に資料館を開館予定

* 安全対策としてカートは、年 4 回(3 ヶ月毎)点検整備、バイオディーゼル燃料で運行(R4.8~)

●とことこトレイン(未成線地) 山口県岩国市

錦川清流線錦町駅から、そうづ峡温泉駅までの約 6kmを走る観光用の電動トロッコ列車。

トンネル内に短大生や地元の小学生・園児が制作したデザインを基に 6 色の蛍光石で壁画を制作「きらら夢トンネル」と命名され幻想的な光景を生み出している。累計で 47 万人利用、観光スポット

●高森湧水トンネル公園(未成線地) 熊本県高森町

高森トンネルの掘削工事中に異常出水で工事中止。全長 2.055mのトンネル内のうち 550mを高森湧水トンネル公園として整備して一般開放している。トンネル内は年間を通して夏は涼しく冬は暖かい。一番奥には光のイリュージョンを楽しむことができる「ウォーターパール」、七夕まつりや、クリスマスファンタジーを開催していて、現在では、年間 11 万人が訪れる観光スポット。



白川水系最源流 高森湧水トンネル



R5 年度は年間 137,000 人入園者予定



維持管理費(約 2 千万弱)をカバーする年間入園料(3 千 8 百万)

●高千穂線跡(廃線跡地) 宮崎県日之影町

高千穂鉄道を歴史的な遺産として保全・継承し、各事業に取り組んでおり、無償譲渡を受けた列車 2 両を回収して TR 列車の宿、駅舎の切符売り場を利用した「鉄道資料館」、ホーム敷地内に「天然足湯」、橋梁やレール、枕木の上を歩き、列車に乗った気分で森林ウォークを楽しめる。

3 トークイベント テーマ「鉄道遺産からの挑戦」 登壇者 俳優:六角 精児 氏、甲斐町長

六角氏・・・鉄道ファンで知られている。鉄道とお酒とともに日本を再発見する番組は人気シリーズ。

車窓から観る景色が好き、地域の人が好き、地域の話を知ることが好きな俳優である。

Q: 高千穂の未成線・廃線をどうやってみなさんに知らせ残していけるか？

A: 地域の人を楽しんで取り組んでいることが大事で、今までと違う工夫も必要である。チャットを活用して情報発信や、未成線・廃線だけでスタンプラリー(六角ラリー)をして、全国制覇を呼びかけてはどうか？(廃線跡の御朱印を提案された方がおられ、今、取組中とのこと)

甲斐町長

A: 鉄道ファンは全国にいる。行政としては残すことにお金がかかるが、鉄道遺産だからこそ、全国から応援してもらおうことができるのではないかと。高千穂はこれから自然環境が注目されるから、それに併せて鉄道公園化構想をもっており、文化財としての取組をしたい。

4 高千穂の夜神楽(国指定重要無形民俗文化財)拝観

高千穂地方に伝承されている神楽は、天照大神が天の岩戸に隠れられた折に、岩戸の前で天鈿女命が調子面白く舞ったのが始まりとされており、毎年 11 月の中旬から翌年 2 月上旬にかけて各村々で 33 番の夜神楽を実施して、秋の実りに対する感謝と翌年の豊作を祈願するものである。高千穂神楽は 365 日毎晩 20 時より高千穂神社で 1 時間、夜神楽 33 番の中から代表的な 4 番を公開している。

(当日は特別に 21 時から 1 時間、サミット参加者のために舞っていただきました。)



高千穂神社神楽殿 拝観料 1,000 円



25 番 手力雄の舞

代表的な 4 番

25 番: 手力雄の舞(てぢからお)

26 番: 鈿女の舞(うずめ)

27 番: 戸取りの舞(とと)

15 番: 御神体の舞(ごしんたい)

5 エクスカーション(高千穂町内)参加

エクスカーションとは、従来の見学会や説明を受けるタイプの視察とは異なり、訪れた場所で案内の解説に耳を傾けながら参加者も意見を交わす。「体験型の見学会」です。

○高千穂あまてらす鉄道乗車 施設内見学

○トンネルの駅 施設内見学等

○高千穂峡

【所 感】

浜田市に遺構として残る鉄道遺産「幻の広浜鉄道 今福線」を生かした地域活性化の取組のため、2年毎に開催されている「第4回 全国未成線・廃線サミット in 高千穂」に参加した。

高千穂の取組を中心に未成線地・廃線地の活用・活動の事例発表において、トンネルの暗闇を生かした光(LED, 蛍光石)の演出は素晴らしいものがあり、今福線のトンネル内においてもチャレンジすべきだと感じた。また、長いトンネルの中では安定した温度や湿度を得られるとして、焼酎を熟成させる貯蔵庫にした民間の取組は「トンネルの駅」として情報発信しており、集客や物販も好評であった。今福線でも何か貯蔵庫として利用することが考えられないか、調査・研究してみたい。

トンネル活用事例発表をされたところは、全てトンネル内の舗装、湧水、排水対策がしっかりされているが、今福線の見どころの一つでもある下長屋トンネルは思ったように整備されていない。また、いろいろな理由があるにしても普段トンネルは進入禁止で訪れる観光客は残念がって帰られる実態があり、安全を確保した上で、せめて週末や祝日等は開放すべきではないか。特にトンネル内において長靴を履いて歩くような環境を変えるよう、関係団体(今福線を活かす連絡協議会等)に要望していきたい。

高森町の「高森湧水トンネル公園」の活用事例はコロナ禍があったとしても、右肩上がりに入園者が増えており、入園料をいただいて維持管理費を補っている発表には正直驚いた。

廃線地利活用についての感想は、レールがあればいろんな列車(高千穂のグランド・スーパーカート、錦町の電動トロッキ電車)等を運行できる魅力は、廃線になった三江線でも取組まれており集客と話題づくりができると思った。今福線のような未成線地で考える場合は、線路跡地に電動カート(自動ゴルフカート)の走行などが考えられる。

高千穂の「365 日夜神楽」は浜田では三宮神社での「夜神楽」であり、毎日午後8時から1時間行うということで、この日も観光客とサミット参加者が一緒に拝観した。神楽舞自体は、33演目中4番しか拝観できなかったが奉納神楽の真髓を観た気持ちになった。比べるものではないが、郷土芸能の石見神楽はリズムの早さ、衣裳の豪華さなど改めて素晴らしいものであるので、自信を持って「石見神楽の郷」として情報発信していきたい。

以上サミットに参加した所感です。